

道徳学習指導案

5年2組 29名 指導者 馬場智也
京田憲子

本授業は、以下のような視点で授業を行うものである。

- 展開前段におけるT.Tによる話し合いは、それぞれの立場での感じ方、考え方を十分引き出すものであったか。
- 展開後段における全体での話し合いは、展開前段での話し合いを生かした価値追求がなされたものであったか。

1 主題名 男女が理解し合う心（資料名「心のレシーブ」〈読み物－東京書籍〉）

2 ねらい

互いに理解し合って友情を育て、協力しようとする心情を育てる。（2－③ 友情・信頼、助け合い）

3 主題について

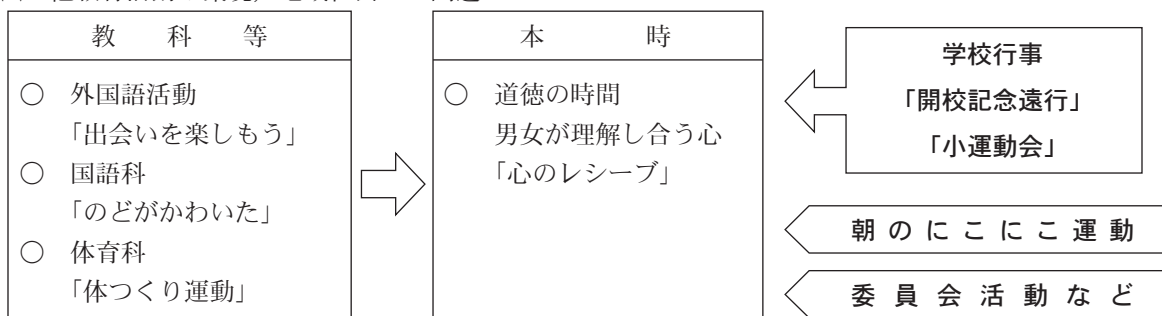
(1) 主題の価値

本主題は、2－(3)「互いに信頼し、学び合って友情を深め、男女仲良く協力し助け合う」で、友達同士の相互の信頼の下に、互いに磨き合い、高め合うような真の友情を育て、協力して助け合おうとする心をもった子どもを育てようとする内容項目である。これは、中学校の2－(3)に発展するものである。また、5年生段階の子どもは、第二次性徴期に入るため、個人差はあるものの異性に対する関心が強まり、これまでとは異なった感情を抱くようになる。異性に対しても、信頼を基にして、正しい理解と友情を育て、協力して助け合おうとする心をもった子どもを育てることが大切である。これは中学校の2－(4)に発展するものである。

日々の生活の中で、自分自身が友達を支え、また、友達によって支えられていることは多い。誠意をもって友達に接し、互いに励まし合って、友人関係を築き上げることが真の友情といえる。このような友達の存在は、生涯にわたって精神的な心の支えとなるものである。

高学年の子どもは、相手がどのような気持ちでいるのか、少しずつ推測ができるようになる。友達との関係もこれまで以上に相手を意識し、仲の良い友達との絆を深めていく一方、趣味や嗜好などを同じくする閉鎖的な仲間集団をつくる傾向も生まれてくる。そのため相手の見方が気になって疎外感を感じたり、異性間での対立を生じたりすることもあり、不安定な時期ともいえる。そこで、真の友情について、また、異性に対する友情について自分の在り方を含めて考えることは大変意義があると考える。

(2) 他教育活動や環境、地域社会との関連



(3) 児童の実態と資料について

平成23年4月7日 調査人数29名

① 男女仲良くすることは大切か。	【男女の協力に対する意識】
はい……………29人 いいえ……………0人 分からない……………0人	
② 大切だと思う理由	
<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな触れ合いができる。 ・別々だとみんながばらばらになる。 ・男は料理をできない。 ・遊ぶ相手がいなくなる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・異性と話ができなくなる。 ・いざというときに協力できない。 ・病気になったときに困る。 ・助け合うことが大切だ。
	<ul style="list-style-type: none"> ・絆が深まる。 ・差別がなくなる。 ・楽しく過ごせる。 ・社会に出て困る。

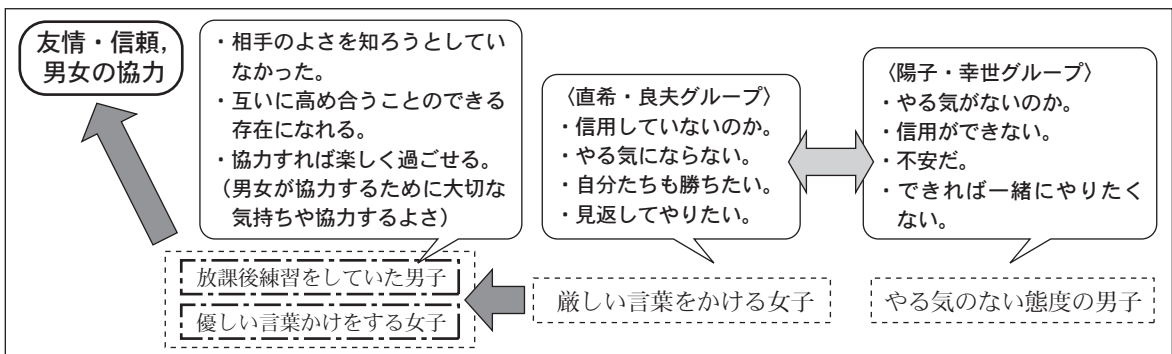
<ul style="list-style-type: none"> ・仲良くしないと相手のことが分からない。 ・友が増える。 ・誰とでも仲良くなれるようになる。
③ 男女仲良くできているか。 【男女の協力についての実態】 はい……………18人 いいえ……………4人 分からない……………7人
④ 男女仲良くできない理由 ・恥ずかしい。 ・冷やかされると思う。 ・冷やかされたことがある。

①の結果から、学級全体の子どもが男女仲良くすることは大切だと考えていることが分かる。しかし③によると普段、「男女仲良くできていない」という子どもが4人、「分からない」と答えている子どもが7人いる。「男女仲良くできていない」と答えた子どもの理由は「冷やかされる」ために、積極的に関わることができなくなっている。

また、「男女仲良くすることは大切だ」と考えている理由では「ばらばらになる」「絆が深まる」など漠然としたものや「男は料理をできない」「病気になった時に困る」など偏った考え方をしている子どももいる。また、「遊ぶ相手がなくなる」など自分を中心にした考えもある。

このことから男女が仲良くすることのよさについて多面的な感じ方や考え方に触れることは大切であると考える。

【資料分析】



本資料は、ソフトバレーボールが得意な陽子・幸世とあまり得意でない直希・良夫が同じチームになり優勝を目指すという話である。実際の子どものたちの学校生活でも同じような場面が考えられるため、それぞれの立場について共感的に捉えることができる資料である。

直希と良夫のよさや自分に欠けていた態度に気付いた陽子の気持ちから、男女が協力するために大切にしたい態度や男女が協力するよさについて話し合うことができると考える。



4 展開に当たって

見つめる活動では、実態アンケートを基に学級の誰もが男女仲良くした方がいいという思いをもっていることに気付くことができるようにする。男女に関することは「冷やかされるのではないか」という心配から友達に相談しにくい面もある。しかし、全員が仲良くしたいという思いをもっていることを知ることで、問題意識も高まってくると考える。そのうえで「男女が協力し、助け合うことはなぜ大切なのだろう」という共通の価値追求の視点を練り上げていく。

問い直す活動では、追求の視点が明らかになった子どもたちに、陽子・幸世、直希・良夫の立場に分かれてそれぞれの気持ちについて考えることができるようにする。陽子・幸世のグループは直希と良夫の態度から不信感をもったことや、自分の強い思いが中心になり、相手のことを積極的に理解しようとしていない態度に気付くことができるように話し合う。直希・良夫のグループは陽子・幸世の厳しい言葉や口調に対する気持ちや、自分たちの思いを伝えようとしていない態度に気付くことができるように話し合う。その後、全員で二つの立場の板書を比べながら「男女が協力し、助け合うことはなぜ大切なのか」ということについて話し合う。その際、男女が協力し、助け合うために大切な態度と男女が協力し、助け合うことのよさについて明確になるように板書する。

振り返る活動では男女それぞれのよさを生かすことや、同性であっても異性であっても変わらない友情のよさについて本時の学習から考えたことを道徳ノートに書くことを通して、今後の友達関係の在り方について考えることができるようにする。

あたためる活動では、男女協力し、助け合っている友達の体験や気持ちについての紹介を聞くことで実践意欲へと結び付けられるようにする。

時	主な学習活動と教師の手立て・評価			
7	<p>【見つめる活動】</p> <p>1 実態アンケートを基に男女仲良くしたいという願いをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異性と話すのは恥ずかしい。 ・男女とも仲良くできたらいい。 ・特に問題を感じない。 <p>男女が協力し、助け合うことはなぜ大切なのだろう。</p>	<p>実態アンケートを基に男女仲良くしたいという願いをもった友達が多いことを知り、自分の中にもそのような願いがあることに気付くことができるようにする。皆が男女の友情について理解し、実践につなげることができるようにするために「男女が協力し、助け合うことはなぜ大切なのだろう」という共通の問題意識を喚起する。</p> 		
27	<p>【問い直す活動】</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>(陽子・幸世グループ)</p> <p>2 陽子の気持ちを中心に考える。</p> <p>(1) 直希と良夫が同じチームになることが決まったときの気持ち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大丈夫だろうか。 ・ふざけて真面目にしないのではないだろうか。 <p>(2) 1組の話の聞いたときの気持ち</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 相手のことを分かっていなかったな。 イ 二人とも素敵だな。 ウ 次は力を合わせて頑張りたいな。 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>(直希・良夫グループ)</p> <p>2 直希の気持ちを中心に考える。</p> <p>(1) 陽子や幸代の言葉を聞いたときの気持ち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信用されないならやる気がなくなるな。 ・威張って嫌な感じだな。 <p>(2) 陽子の言葉を聞いたときの気持ち</p> <ul style="list-style-type: none"> ア がんばってきてよかった。 イ 優しいところもあるな。 ウ 次はもっと力を合わせて頑張れそうだ。 </td> </tr> </table> <p>(3) 男女が協力し、分かり合うことはどうして大切なのか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お互いのよさが分かりあえる。 ・仲良くなり、気持ちよく過ごせる。 ・力を合わせて目標を達成することができるようになる。 ・皆が幸せになる。 	<p>(陽子・幸世グループ)</p> <p>2 陽子の気持ちを中心に考える。</p> <p>(1) 直希と良夫が同じチームになることが決まったときの気持ち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大丈夫だろうか。 ・ふざけて真面目にしないのではないだろうか。 <p>(2) 1組の話の聞いたときの気持ち</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 相手のことを分かっていなかったな。 イ 二人とも素敵だな。 ウ 次は力を合わせて頑張りたいな。 	<p>(直希・良夫グループ)</p> <p>2 直希の気持ちを中心に考える。</p> <p>(1) 陽子や幸代の言葉を聞いたときの気持ち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信用されないならやる気がなくなるな。 ・威張って嫌な感じだな。 <p>(2) 陽子の言葉を聞いたときの気持ち</p> <ul style="list-style-type: none"> ア がんばってきてよかった。 イ 優しいところもあるな。 ウ 次はもっと力を合わせて頑張れそうだ。 	<p>④ ワードカード、場面絵</p> <p>それぞれの立場から男女の友情について考えることができるように、男子・女子それぞれの立場に立ったふたつのグループに分かれ話し合うことができるようにする。</p> <p>それぞれの言葉を基に、男女が協力できない理由の一つに相手に勘違いをされるような言動をしてみたり、相手のことを知ろうとしていない自分自身の態度があったりすることに気付くことができるようにする。</p> <p>※ (2)の場面对する考え方を次の視点で評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 自分の気持ちを中心にした考え方 イ 他人への思いを中心にした考え方 ウ 集団・社会への思いを中心にした考え方 <p>「男女が協力し、分かり合うことがどうして大切なのか」という共通の問題意識について、板書を基にしながら、資料を通して考えたことやこれまでの体験を生かしながら考えることができるようにする。その際、「互いによさがある」ということと「それを積極的に理解しようとしていない自己の態度」があることに気付くことができるようにする。</p>
<p>(陽子・幸世グループ)</p> <p>2 陽子の気持ちを中心に考える。</p> <p>(1) 直希と良夫が同じチームになることが決まったときの気持ち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大丈夫だろうか。 ・ふざけて真面目にしないのではないだろうか。 <p>(2) 1組の話の聞いたときの気持ち</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 相手のことを分かっていなかったな。 イ 二人とも素敵だな。 ウ 次は力を合わせて頑張りたいな。 	<p>(直希・良夫グループ)</p> <p>2 直希の気持ちを中心に考える。</p> <p>(1) 陽子や幸代の言葉を聞いたときの気持ち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信用されないならやる気がなくなるな。 ・威張って嫌な感じだな。 <p>(2) 陽子の言葉を聞いたときの気持ち</p> <ul style="list-style-type: none"> ア がんばってきてよかった。 イ 優しいところもあるな。 ウ 次はもっと力を合わせて頑張れそうだ。 			
8	<p>【振り返る活動】</p> <p>3 資料を通して考えたことや日頃の体験を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今まで仲良くできなかったのは、相手のことを知ろうとしていなかったな。 	<p>本時の学習を通して、道徳的価値に関して思ったことや考えが変わったことなどを書くように助言する。その際、実態アンケート等をもとに自己の体験を想起することができるようにする。</p> 		
3	<p>【あたためる活動】</p> <p>4 男女協力し合っている子どもを紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協力し合うことは大切だな。 ・仲良くできることは当たり前だな。 	<p>他者の生き方に感動し、自己の望ましい生き方を感得できるように、実際に男女協力し合っている友達の姿を紹介し、よりよい生き方をしようとする意欲をあたためることができるようにする。</p>		